

選挙



絶対二二には投票しないぞ……

朝、選挙カーに起こされて

『：次は、生徒会副会長候補、杉崎鍵さんの演説です』

スピーカーから、司会の選挙管理委員の真面目くさった声が流れる。俺はそれをただ1人、生徒会室の、この1年、毎日座っていた椅子で聴いていた。1年前、生徒会長になったあの日から364日、俺は常に完璧な人間であり続けた。だから、最後の1日、投票をサボって生徒会室で感傷に浸ることくらい、許してもらえないだろうか。

『：以上、杉崎鍵さんの演説でした。最後に、生徒会長候補、浅雛菊乃さんの演説です』

俺は自分の右手側の席に目をやる。そしてこの1年、毎日その席に座り続け俺を支えてくれ、これからの1年毎日、今俺が座っている椅子に座るであろう少女に思いを馳せる。きっと今、去年と同じように手と足を同時に出しながら、壇上のマイクまで歩いているのだろう。そんな姿に当時はひどく不安にさせられたものだが、普段の彼女の冷静さや、俺や教師にも物怖じせず発言できる強さを知った今では、自分の後任に彼女以上の人材がいるとは思えなくなっている。

「ほんと、お前が副会長で良かったよ、浅雛」

「ありがとうございます、会長。私もあなたの右腕として働けて良かったです」

あるはずのない返答。目を開くと、閉じたドアの前に彼女が立っていた。いつも通り冷静な声で、でも珍しく息を乱している。どうやらここまで走ってきたらしい。

「どうした。さっさと体育館に戻ないと、立候補が取り消されるぞ？」

「ダブルブッキングでした。自己判断で、私はこっちの選挙に出ます」

そう言うのと彼女は俺の傍に歩み寄る。合わせて、俺も立ち上がる。

「1年前のあの日から、私はいつもあなたの隣に立ち続けました。嬉しい時も、辛い時も。そして、それは私の喜びでした。私はこれからも、あなたの隣に立ち続けたい。そして、私が感じた喜びを、あなたにも感じてほしい。だから…」

彼女はそこで一旦言葉を切った。俺の目を見て、息を吸って続きを口に出す。

「私は、あなたの恋人に立候補します」

俺は彼女の瞳をじっと見つめた。綺麗な黒の瞳には、揺らぐことのない強い意思が宿っていた。『：投票用紙も投票箱もないんだけどな。それに一票の格差も激しい。不公平過ぎる選挙だな』「投票用紙も投票箱も会長の心の中です。それに、有権者は会長1人ですから格差ありません」彼女が、初めて見る表情をした。それはひよっとしたら、微かにでも笑ったのかもしれない。なんだか、負けっぱなしなのは納得がなかった。

「分かったよ。じゃあ選挙管理委員もいないし、お前が開票をしてくれ」

そう言って彼女を腕の中に抱きしめ、その耳を自分の胸に当てる。直後彼女はジタバタしたが、すぐに大人しくなった。

「結果はどうだった？」

「…マニフェスト達成に、全力を尽くします」

少し揺れる声で、腕の中の彼女はそう言った。

ちなみに後日、候補者欠席により延期された生徒会長選挙が行われ、彼女は俺の後任となった。彼女曰く「予定通りです」らしい。

「あなたの隣に立候補」

ホモ・サピエンスの頭に角が生えはじめたくらいの近未来、八百万の神々は高齢のため定年退職しようとしていた。生きとし生けるものすべての平等が当たり前のこの時代、新しい神々も選挙で決められるのであった。これは、神になりたかった一人の日本人の少女の物語である。

選挙！ 選挙！

いっぱいやるぞ！ 票！

ただいまより、銀河・ザ・神☆見☆放送（太陽系地球第四十二区）を開始いたします。なお、立候補者一人に与えられた時間は、銀河標準時間で一単位時間となっておりますので、しゃべる方も聞く方もご注意ください。

「につ、日本人代表、の、みつ、宮代八江ですつ。すつ、好きな食べ物、じゃなくて、ええと、とにかく、わちゃやがしみ神になったら、皆あもおおおおつと幸えになるから、ぜひわた私に清くたださいつぷようをお願いしまあしゅつ。」

「わたくし、甲殻類代表のカーニ・蟹でございます。わたくしが独自に開発いたしました、ニュー・ハッサミン・テクノロジーによって、従来の方式では滅ぼすしかなかった全世界を細かく分解し、再構築することによって、銀河経済を活性化させ、さらに…（時間切れ）」

「淫魔代表のサツきゅんでーす。あたし、生きものには、やつぱり、あんなことやー、こんなことも必要だと思ふのね。だから、そのー、色々などこで、みんなにいいこと、じゃなくて、みんなをいろんな意味でサポートしたいなーとか、おもつてまーす。」

かくして、各立候補者による壮絶な戦いが始まるのであった。

ああ

私の心は

あなたに届いているの

本当はたくさん票なんていらない

そう

わたしは

あなただけの神になりたいのだから

「しかたないから、その汚らわしいあんたの票を神聖なあたしに入れさせてあげる。か、勘違いしないでよね。」

「はい、はい、わかったよ。」

速報です、太陽系地球第四十二区の神は淫魔代表のサツきゅんさんが当選確定となりました。早速、インタビューしてまいります。…当選された心情はどうでしょうか。

「なんか、興奮しちゃってー、はあ、すごくよかったです。…（以下略）」

ああ素直になれないけど

私の心は

あなたに投票してしまったの

本当は

悔しくて泣いてるんじゃない

あなたの票がうれしかったの

そうして、この壮絶な戦いは、幕を閉じたのであった。

公明党「明るい選挙」

幸福実現党「清き一票」

私が王に選ばれた暁には国民の皆様のために三つのことをするとお約束いたします。

一つ目は労働の改善です。現在我が国では公務員の労働環境が最悪と言っても過言ではありません。つらい肉体労働、暗い雰囲気職場、耐えない不満の声。私はこれらを改善し、皆様が気持ちよく働くことができるようにすることをお約束しましょう。

二つ目は移民に関するT国との問題の解消です。元来我が国とT国はG国からの移民を一定の割合で分け合うと言う協定を結んでおりました。しかし今日ではT国がその協定を無視し、過剰な移民を受け入れています。かつて一六世紀ごろにG国において免罪符が大量に発行された際にT国への移民が急増したことがあります。今日起こっていることはそれに匹敵する問題であると言えるでしょう。私はこの状況を改善するとともに、将来の移民数の安定をお約束しましょう。

三つ目は設備の劣化に伴う公共サービスの質の低下を解消です。現在我が国の多くの公共施設には運用開始から長い年月を経ているものが少なくありません。特に移民の方の多くが使用する池や山の劣化は相当なものです。また、伝統的に王に受け継がれてきたペンチを始め、様々な備品も耐用年数を大幅にこえております。私はこれらの問題に対し積極的に予算を投入することで、随時施設の改修及び備品の整備を手がけていくことをお約束しましょう。

今回の選挙は我が国にとって非常に重要な転換点になることは間違いありません。どうか皆様の清き一票を私、閻魔太郎によりしくお願いいたします。

選挙

日曜の朝、エヌ氏は妻に起こされて目を覚ました。せっかくの休日であり、二度寝していたかったのだが今日が何の日かわれて、しかたなく起き上がった。今日は国政を左右する投票日なのだ。

朝食を食べたあと、しばらく一服ついたエヌ氏はのんびりと投票所に向けて歩いて行つた。その途中で会社の同僚に出会い、話しながら向かっていく。

「ついに来たなあ。」「そうですねえ。私としてはこれで政治がよくなると思いますが。」「君はどこに投票する?」「それはご勘弁していただけませんか。秘密投票は選挙の原則ですよ。」「ああそうだった。すまないな。」「いえいえ、わかっていただければ。」

と、そこでエヌ氏はふと思いついたことを尋ねてみた。

「なあ、俺に敬語なんて使わなくてもいいんだぞ?」

実際、この同僚はもうすぐ自分の上司になるはずなのだ。

「いえ、昔からの癖ですから。たぶん治らないと思いますよ。」

「…そうかい。」

夕方、テレビでは開票速報をやっていた。

「Oh! Okayama 地区 自由ロボ党のロボ山候補が三千二十九票を獲得し、当選を確実にしました。他の候補の得票数は以下の通りです…」

・ロボ主党 ネジ川釘未候補

二千五十六票

・ネジ共産党 ラジ川コンピ候補

三百六十票

・ロボ社会党 ソニ山犬恵候補

三百六十七票

・人間党 ○山×雄候補

十二票

案の定彼の投票した政党は大差をつけられて負けてしまっていた。その事実を確認したあと、彼は妻にオイルをさしてやり、先に休むことにした。

「…だから初めからロボットに人権をやるなんて反対だったんだ。おかげでこんな変な世界になっちゃった。」こんなことをロボットに愚痴っても仕方がないので、深夜布団をかぶり独りエヌ氏は考える。もつとも、エヌ氏に抗議運動の類など起こすつもりはない。

少数派が何を言おうが多数派が勝利する。それが民主政治というものなのだ。

聞こえのいいマニフェストを掲げる政治家

相手の欠点を問い詰めて相手を落とす政治家

どちらも浅はかな虚構の「浅虚」でしかない

優れた人材を選び挙げる「選挙」をやりたい

前人未党

わが前人未党は有権者の皆様に次の目標達成をお約束いたします

- ① 優等生物の効率的労働による食料の安定供給
- ② 核融合エネルギー技術の復活によるエネルギー源の安定化
- ③ 統一ネットの設立に向けての主導権掌握

世界紛争が終わりを迎え早40年、世界情勢は一向に良くなる気配を見せません。貧困が止まらず、餓死者の増加が問題となり続けております。大地の汚染を何とか食い止め、残されたわずかな土地での食料の生産という危険な仕事をする必要があります。機械だけでは管理が追いつきません。そこで人類のベツトたちにその役目を担ってもらいます。また世界紛争後に成立した国家は皆鎖国の政策をとり貿易額は旧来の世界体制に比べ経済的に不活性な時代が訪れています。利用可能なエネルギー資源も我が国の中で模索していかなければなりません。いつでもどこでも安定して起動し、半無限電池となってくれる核融合エネルギー技術を再び活性化させます。同時にそれは最大の防衛手段の技術も提供してくれることでしょう。また、比較的余裕ある我が国は苦しい時代ながらも国際的ネットワークの復興をして世界を開けた方向に向けることができるものと思われまふ。主導的な動きで世界をリードしていきましょう。大切な同意の票をよろしく願ひします

正当新世界開拓連合

I. 優等生物を解放いたします

II. 核融合エネルギーを全廃します

III. 融和的世界の実現

既成政党の暴走を止める！

新世界正当開拓連合は右の3つのマニフェストを実現いたします。いわゆる優等生物の解放と人権の存在の保障をいたします。猿や犬、猫の人工的遺伝子改変によつて生まれた生き物たちが、人の言葉を理解し、2本足で立ち、働きながら、まるで奴隷のような扱いを受けております。世界紛争の特攻隊的役割を果たしてきてくれた彼らが居なければ我々は今ここに折りません。今感謝する 때가 やつてきたのです。次に核融合エネルギーの使用を廃止します。世界紛争の反省を生かせば、核融合反応のエネルギーは人類が扱ってはならないものであることは明らかです。平和で安全な世界を築き上げましょう。全世界での国勢調査が正確に済んだわけではありませんが、世界の人口はいま3億人は確実にいると推定されます。以前の2%まで人口が減ってしまいました。そこで悲劇を繰り返さないために何が重要か、一大国の意見が大勢の小国の意見を退けない協力された新たな世界体制が必要とされているのです。世界を一つにするご協力をお願いします

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	朝、選挙カーに起こされて	18 pt	1 位	2 sp
		恨みのこもったひとことをぐさり。怒りがふつつつと伝わってきます。 裏表紙専門職さん、なんと今週は表紙、そしてゴールド・メダルです、おめでとう!! 特別賞：朝 1 2 時起床 from V 班（起きるの遅いね、仕方ないね）これからの時期うるさい賞 from X 班（決選投票）		
02	～あなたの隣に立候補～	14 pt	2 位	1 sp
		あまあい長文、入ります。手馴れた描写で安心して読める仕上がりでした。 オシの強い副委員長さん、きっとみなさんの好みのタイプなんでしょうね。歩き方のような小さなしぐさからキャラを組み立てるワザも決まっています。 なぜこの瞬間を告白タイムに選んだのか、より必然性があるともっとドラマとして完全だったのでは。 待ってましたの声までいただいてシルバー・メダルに駆け上りました、おめでとう!! 特別賞：まってましたで賞 from S 班（リア充モノ待ってました）		
03	神様選挙	5 pt	5 位	3 sp
		二段組み力作、入ります。 サッキゅん、なにもの？断片を賑やかに散りばめて、映画の予告編のようなスピード感で見せていただき、最多特別賞受賞です。おめでとう！ 特別賞：突然の詩（→ウタと読め！）賞 from Q 班 残念ヒロイン賞 from T 班（ヒロインがヒロインしてない）近未来のホモサピエンスの頭に角は生えるので賞か？ From Z 班（個人的なツボ） イチオシフレーズ：「ニュー・ハッサミン・テクノロジー」× 2 「あなたの票がうれしかったの」		
04	公明党/幸福実現党	3 pt	7 位	1 sp
		うーむ、これは解釈に困ります。 選挙の季節、空虚なフレーズたちが飛び交ってるねえ、というシニカル視線か？はたまた某ちゃんねる周辺の話か？ 特別賞：まじめで賞 from U 班（まじめだなーって。解説、だれかお願いね） イチオシフレーズ：「明るい選挙」		
05	第三千八百八十一回 閻魔大王選挙 候補者演説	5 pt	5 位	0 sp
		閻魔大王さまの選挙。そこへ来るとはっ！のオドロキが楽しさとして開花します。 公務員、現世（たぶん）と天国、見立てがうまいなあ。		
		7 pt	4 位	0 sp
		「妻にオイルをさしてやり」がツボでした。		

06	選挙	たんたんと運んで、じつはブラックなロボット世界。プロット・文体ともに完成されてますね。 あとの課題はタイトルをどう工夫するか、かと。 イチオシフレーズ：「Oh!-Okayama」			
07	無題（聞こえのいいマニフェストを）	<table> <tr> <td>8 pt</td><td>3 位</td><td>0 sp</td></tr> </table> きれいにかっちり仕上がって、対句の整いかたがポイントでした。「浅虚」、なるほどね。 みんなを納得させて、ブロンズ・メダル&今週のイチオシフレーズ大賞ゲットです。おめでとう!! イチオシフレーズ：「浅虚」×4	8 pt	3 位	0 sp
8 pt	3 位	0 sp			
08	前人未党/正当新世界開拓連合	<table> <tr> <td>0 pt</td><td>8 位</td><td>3 sp</td></tr> </table> SF世界の対立争点。緻密に作り込んでみごとな職人芸の披露です。ラストのポスター回収のくだりにいたるまで、しっかり読者を引き付けて、話題性満載。最多特別賞受賞でした。おめでとう！ 特別賞：作者に返却しま賞 from R班（返却爆撃） 言ってること同じで賞 from W班（両党の言ってることが最終的に同じだと思ったから）ねこみみをペットにしたいで賞 from Y班（ねこみみいいじゃん）	0 pt	8 位	3 sp
0 pt	8 位	3 sp			